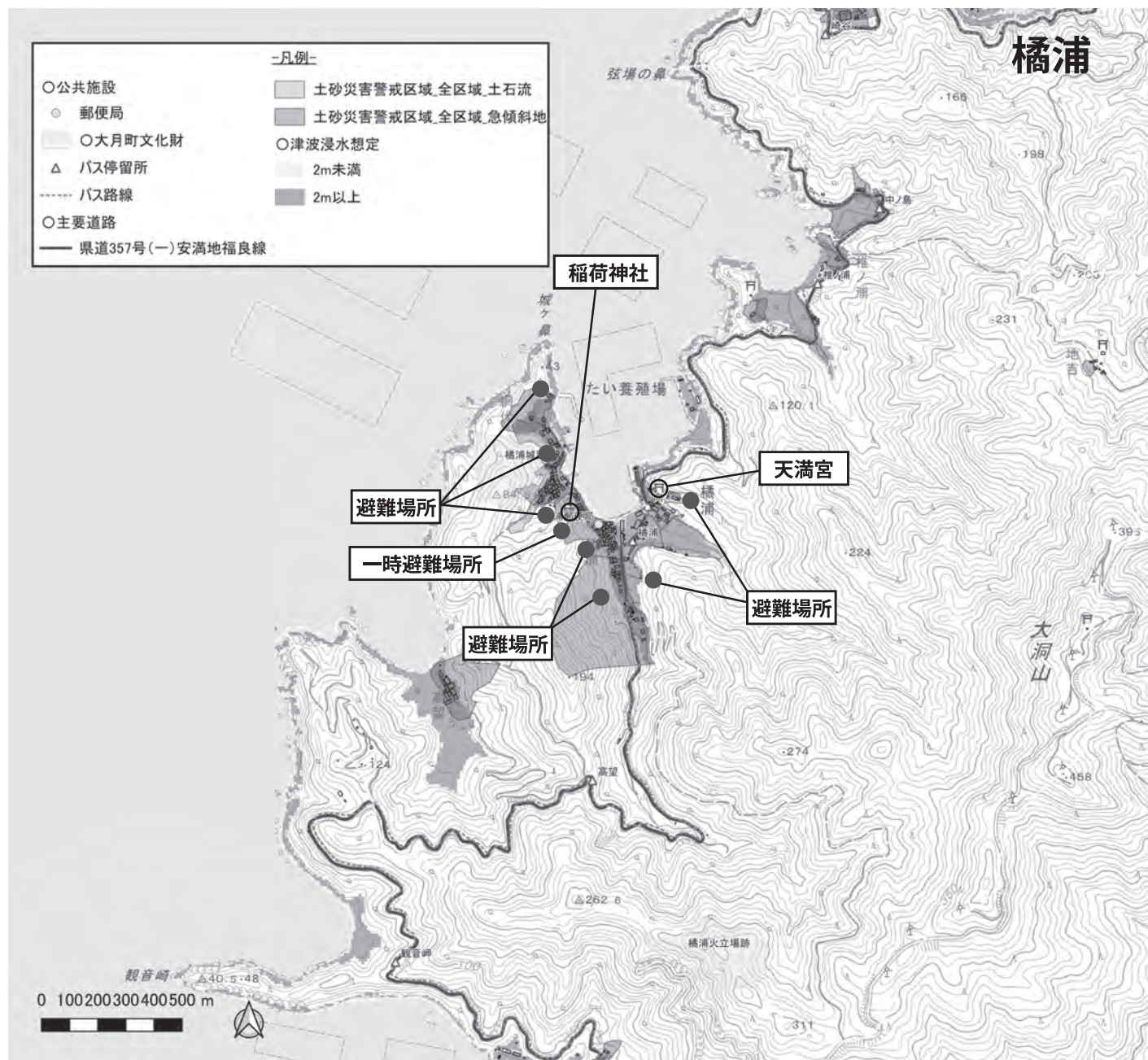




『事前復興まちづくり計画策定の流れ（予定）』

令和7年度以降も計画策定にあわせて、継続的に地区での話し合いの場を設けます。皆さまの意見をもとに、地区毎の復興まちづくり計画としてまとめていきます。

※以下は予定のため、今後変更になる可能性があります

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
計画策定の取組	→			
有識者委員会等	▼	▼	▼	▼
地区での検討	第1回（今回） 地区の状況を共有する	第2回（仮） 復興目標を考える	第3回（仮） 土地利用を考える	第4回（仮） 地区での準備を考える
				パブリックコメント

お問い合わせ

大月町役場 総務課 危機管理室
〒788-0302 幡多郡大月町弘見 2230 番地
Tel：0880-73-1140 Fax：0880-73-1380

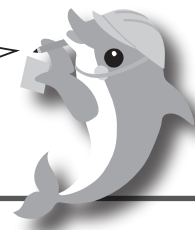


ホームページ



OTSUKI_JIZENFUKKO

大月町事前復興まちづくりの様子をホームページやインスタグラムで発信しています！ぜひフォローしてください！



大月町 事前復興 まちづくり かわら版

橘浦

第1号

事前復興計画に向けた地区座談会を開催。 地区についてたくさんの意見がでました！

2024年12月6日（金）18:00～20:00、橘浦区長場にて事前復興計画に向けた地区座談会を行いました。

地区座談会では、地区にお住まいの皆さまで改めて地区の状況を共有することを目的に、まずは、被災後も残していきたい「地区の強み・魅力」、復興まちづくりに併せて解消したい「地区の弱み・課題」を出し合いました。

その後、「地区の魅力を伸ばす」「地区の課題を解決する」ためのアイディアを出し合い、最後に「復興まちづくりの方向性」を話し合いました。

今回の結果を踏まえ、来年度以降も地区での話し合いの機会を設けていく予定ですので、今回ご都合がつかなかった方を含め、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



令和6年度から8年度まで事前復興の取組として、沿岸18地区の皆さまと話し合いを行います。

大月町は東日本大震災後から続けている避難路整備を始めとした町民の皆さまの命、生活を守り繋げる「防災」の取組と併せて、令和5年度より、災害が発生した際にどのように町や地域を復興するのかを予め考える「事前復興」の取組を開始しました。特に、南海トラフ地震による津波で被害の発生が危惧される沿岸18地区において、令和9年度の計画策定を目標に、令和6～8年度までの3年間、地域の皆さまと話し合いをしながら、地区別に復興の形を一緒に考えていきます。



大月町役場 橘浦の担当職員の紹介

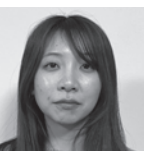
令和9年度の計画策定にむけ、3名の町職員が地区担当職員として地域での話し合いを支援します。



江口 裕斗



吉福 一真



松本 愛

復興後の地区の目指す姿を具体化し、そして実現できるように微力ながらサポートいたしますので、今後ともアンケートやワークショップにおいて地区の皆さまのご意見・アイデアを是非お聞かせください。

皆さまと話し合った内容を
2～4ページにまとめています。

自然環境が良い！

良さ

- ・海がキレイ
- ・魚種が多い（アオリイカ）
- ・ダイビング客が多い
- ・釣り客が多い

課題

- ・山の実りがない

歴史・文化を大切にしている

良さ

- ・神社がある
- ・おみこしの伝統がある
- ・地元の神様を大事にしている
- ・盆踊りをしている
- ・新仏さんの供養
- ・背がけ（施餓鬼会）をしている
- ・小さい祭りも残っている
- ・人口が減少しても形を変化させながらも昔のことは続けている

道路・公共交通のこと

課題

- ・交通の便が悪い（車に乗れなくなれば生活できない）
- ・まちバスが利用できていない（弘見ばかり）
- ・バスの帰りが回送になり乗れない

アイデア

- ・弘見地区へのトンネルを通して避難できる道を確保する
- ・中心部へつながる道が欲しい
- ・乗り合いタクシー（地区での乗り合い等）
- ・まちバスの恩恵を各地区に
- ・バスの帰り、回送にせず乗せて欲しい

産業について

良さ

- ・水産業が盛ん
- ・他にはない水産加工場がある

課題

- ・水産業者が撤退

暮らしのこと

良さ

- ・大月で一番よいところ
- ・地区民の心が良い
- ・助け合いの気持ちが大きい
- ・団結力がある（婦人会、青年団、老人クラブ）
- ・昼間は若い人が多い
- ・水がおいしい（水源があるから安心）
- ・郵便局、幼稚園、小学校、中学校がある
- ・とくしまのおかげで買い物ができる

課題

- ・「夜は年寄りしかおらん
- ・お年寄りができる仕事がない
- ・学校や店もない
- ・若い人が住まない
- ・有害鳥獣が多い
- ・猫も多い
- ・建設業者が近くにない
- ・病院へ行くのが不便
- ・低い場所に公共施設がある

アイデア

- ・若い人が来てくれるような仕事があるとよい
- ・井戸水を釣瓶で使えるようにして欲しい
- ・有害鳥獣の駆除をする
- ・若い人が多い時と少ない時の備蓄の減り方が変化する多めに用意するべきか

防災について

良さ

- ・防災対策を行っている
- ・災害時には区役場に避難する

課題

- ・大雨でも陸の孤島になる
- ・西南豪雨の水害で住宅が水につかった
- ・道が寸断されてしまうなど避難経路に不安がある
- ・道が寸断されると救援も遅れてしまう
- ・家の裏の避難所から、より高い安全な避難所まで直接移動できない
- ・避難場所に雨風が凌げる屋根がない
- ・避難場所はあるが避難所がない
- ・地域内に安全な土地がない
- ・一時避難場所が不安
- ・孤立の危険性がある
- ・井戸を使えるように整備してほしい
- ・20世帯一人暮らしの高齢者がいる（災害時に高齢者を助けられる若い人がいない）
- ・海に向かって避難するのか気になる
- ・ドローンで物資を運べたとしても荷物を下ろせる場所がない（木が生い茂り広い場所がない）
- ・区役所は避難所にはならない

アイデア

- ・避難先に屋根など雨風しのげる場所を作る
- ・土砂災害の心配、工事地権者との調整を早くする
- ・家具の転倒防止をする
- ・備蓄ボックスを置ける建物が欲しい
- ・町バスが物資を運んでくれる仕組みがあるといい
- ・家があれば地区の防災意識も上がる
- ・避難所の運営のマニュアル化をしてほしい（町で長期生活する）
- ・山に逃げられる避難階段があれば山伝いで避難場所に行ける
- ・弘見地区へトンネルを通して、避難できる道を確保する
- ・中心部へ安全に通える道を作って欲しい
- ・ヘリが着陸できるように整備をする

まちづくりの方向性

●今の生活も大切にしたいまちづくり

- ・害獣対策をする（猟師を誘致する）
- ・バリアフリーで安全な場所に区役場があるといい

●いろいろな意見を取り入れ希望の持てるまちづくり

- ・地域の人が集まって住めるようにしたい
- ・安全な高台に暮らしたい
- ・地区の近くの高台が良い
- ・便利な弘見に暮らしたい

・ダム建設用の道路沿いに宅地を構えられるとよい

・前の地震では復興できているからまた生活できるのではないか

- ・個人で良い移転方法を選べるようにする

●防災への取組

- ・企業との防災に関する意見交換をしてみる

